

提 言 書

ゆたかな文化のまち部会

テーマ：「民俗学」～見つめようふるさとの昔～

1 はじめに

国民は、これまで経済的豊かさ、便利さを求めて都会へ移動し、地方は少子高齢化により、大幅に人口が減少していきました。そのような中で、我が国は、現在世界に類をみないほどのスピードで「人口減少・超高齢社会」を迎えており、国はこの課題に対処するため「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の方針を示し、本市では「新見市まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されたところです。

このような状況の中、ゆたかな文化のまち部会では、自治体存亡をかけ、地域の特長を活かし、生まれ、育ち、暮らして良かったと思えるまちづくりのための施策が急務であると考え、その一つとして、「民俗学」に着目し研究を行うこととしました。

2 問題の所在

本市には、それぞれの地域に素晴らしい歴史や伝統・文化的行事があります。しかし、その歴史や伝統・文化的行事等が行われる由来を知らずに過ごしている人が多くいると思われまます。このままだと、その歴史や伝統・文化的行事等が忘れ去られるだけでなく、地域の人と人の大切なつながりが希薄になっていく恐れがあります。

そこで、それらの歴史や伝統・文化的行事を正しく理解し、次世代へ伝承していくことが、地域に暮らす人々の地元への誇りと愛着、いわゆる郷土を愛する心を育み、ひいては地元への定住を促し、さらには市外からの転入者の増加につながっていくものと考え、次のとおり提言します。

3 具体的提言

(1) 伝統行事の復活

新見市内の各地域には、祭りなどの様々な伝統行事があります。しかし、人口の減少や行事に対する認識や歴史観が薄くなったことが原因となり、参加者が減少し継続して行っていくことが難しくなっている現状があります。

それらの行事の中には、次世代に伝えていくべきものも多くあると考えられます。その衰退を食い止めるためには、現在住んでいる若者や子どもたちはもちろん、その地域に住んでいる大人達が、伝統行事を残していこうという意識を高める必要があります。その際、若者・女性・子どもにもわかりやすく手軽に活用できる文化を伝承する資料（ならわし図鑑・いわれ図鑑・地域の伝統料理集・昔ながらのおやつ集・昔遊び図鑑等）を作成し、家庭や学校教育等の場で活用していくことが有効だと考えております。

かつての新見ではどのような暮らしだったのかなど、その歴史を振り返り、正しく理解、認識することで伝統行事の復活につながり、地域の活性化を図ることができると考えています。

(2) 地域巡りでふるさとの良さを再発見

平成17年に1市4町が合併した広い市内には、それぞれの地域に様々な文化財や自然、産業など、地元に住んでいる人には気づきにくい地域の良さが眠っています。そこで、文化財や自然、産業等を掲載したふるさとマップを作成し、地域の自然や産業等に精通した人を招き、見学して巡ることで、地域の良さを再発見することができると思います。そして、その良さを広く情報発信することで、新見の魅力を多くの人に知ってもらい、それが郷土を愛する心を育み、定住を促し人口流出の歯止めにつながると考えています。

そのためには、地域に精通したガイドの方を講師等として登録し活用することで、より効果的な地域巡りを行うことができると考えます。

(3) 地域づくりになる行事の創出

現在、市内各地域で地域づくりにつながる活動や行事が行われています。そこで、その活動を推し進め、地域に住む人が協力して考え、多くの人に参加できる行事の創出が、地域の活性化につながると考えています。

そのためには、若者の意見を反映しながら、公民館活動を中心に多くの人に参加し、行事を創出することが地域づくりに必要だと考えます。

4 まとめ

今回の提言では、私たちが住んでいる地域の昔（民俗学）を見つめ直し、素晴らしい歴史や伝統・文化的行事を正しく理解し、次世代に伝承していくことが地域の活性化を図り、人口減少に歯止めをかける一助になると考えました。そして、上記の具体的提言を実行する機会として、公民館活動を中心に活動するのが一つの方策であると考えました。

しかしながら、公民館活動は利用者が固定化し、子どもや男性、若者の参加率が低くなっているのが現状です。これを改善していくためには、公民館活動の内容を多くの年齢層の人々が楽しく学び、参加が増えるような工夫をする必要があると考えます。

例えば、単一公民館のエリアだけではなく、複数の公民館単位で行事に参加できる体制づくりをすすめる。また、公民館活動に意欲のある専属の職員を公募で採用するなど、職員体制の見直しが必要ではないかと考えます。

公民館活動の参加率を上げることができ、多世帯が多く集まる機会が増えれば、参加者同士で、様々な交流や体験ができ、その中で新たな行事が生み出される契機になると考えています。このように、公民館活動を地域の核として最大限に活用することが、本市最大の課題である人口減少問題の解決策の一つになると考え、ゆたかな文化のまち部会として提言します。